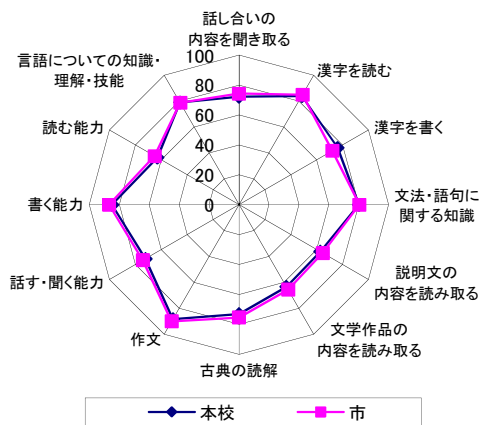


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	72.3	74.3
	漢字を読む	84.0	84.9
	漢字を書く	76.1	72.1
	文法・語句に関する知識	80.1	80.5
	説明文の内容を読み取る	62.8	64.6
	文学作品の内容を読み取る	63.3	65.6
	古典の読解	73.1	75.3
	作文	88.3	90.0
観点別	話す・聞く能力	72.3	74.3
	書く能力	84.8	86.8
	読む能力	63.0	65.1
	言語についての知識・理解・技能	78.9	78.6



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	本校の正答率は、市の平均を2ポイント下回っており、話の趣旨を聞き取る力が劣っている。	録音教材を使って、短い話を聞き取り、その内容を説明するなど、聞き取る力を伸ばす学習を続けていきたい。
漢字	本校の正答率は、市の平均を4ポイント上回っており、「漢字の書き」を得意とする生徒が多いが、「漢字の読み」の正答率は、市の平均を0.9ポイント下回っている。	1年生から、漢字学習プリントを使って漢字練習を継続して行っており、その成果が表れている。さらに、より多くの漢字が正しく書けるよう継続して学習を続けさせたい。読みについては、授業の中で、生徒への意識づけを図りながら繰り返し指導していきたい。
文法・語句に関する知識	本校の正答率は、市の平均を0.4ポイント下回っている。文法は苦手だと思い込んでいる生徒が多い。	文法は難しいと思い込んで、学習から逃げてしまったり、あきらめてしまったりする生徒が多いので、わかりやすい説明を心掛け、問題の解き方が理解できると、「解ける」という喜びを味わわせ、文法の学習への意欲を持たせたい。
説明文の内容を読み取る	本校の正答率は、市の平均を1.8ポイント下回っている。文脈に即した内容の理解が苦手な生徒が多い。	説明的な文章の読解の授業では、内容を把握しやすいような作業用紙を用意し、指示語や接続語の働きから、全体の構成や筆者の考えが読み取れるよう指導していきたい。
文学作品の内容を読み取る	本校の正答率は、市の平均を2.3ポイント下回っている。登場人物の心情の読み取りが苦手な生徒が多い。	朝の読書や学校図書館での指導などを通して、幅広い分野の本に触れるよう生徒に紹介したり、授業では、登場人物の心情の読み取りにじっくり取り組めるよう指導していきたい。
古典の読解	本校の正答率は、市の平均を2.2ポイント下回っている。1つ1つの古語の意味にこだわりすぎて、全体を捉えることができず、古典は苦手だと言う生徒が多い。	導入で、資料集を使ったり、時代背景などを説明するなど、古典の学習に興味関心を持たせるとともに、内容を丁寧に説明することで、内容が理解できるように授業を組み立て、興味を持って学習できるように配慮する。
作文	本校の正答率は、市の平均を1.7ポイント下回っている。作文を書くことに苦手意識を持つ生徒が多い。	書きたい、書こうという意欲を喚起できるような導入を心掛け、特に作文の苦手な生徒には、パターンを説明し、それにあてはめて書けば誰でも書けることを意識づけ、作文を書くことへの苦手意識をなくしたい。